必ず取扱説明書と一緒に保管してください

本体の設置と準備

1.平らで風通しの良い所に本体を設置します。

2.本体の中に入っている微生物基材とその他付属品を取り出します。

3.微生物基材を本体攪拌槽内に入れます。

4.本体攪拌槽内に300ccの水と余りのちぎった食パンやご飯を入れ蓋を閉めます。
※食パン（1枚程度）や、余ったご飯（小茶碗1膳程度）を投入する事により、
微生物基材が活動しやすい環境を作ります。

5.電源プラグをコンセントに接続します。
自動的に運転を開始します。

6.運転開始後、24時間が経過してから生ごみを入れます。
（微生物基材を活性化するため、最初の1週間は1日あたりの生ごみ投入量を
500g程度にしてください。）

※　野菜や根菜などを丸ごと投入する事はお止めください。

取扱説明書補足

【こんなときは】
・音が気になる
・何かがぶつかる音
・ぎしぎしと何かが擦れる音
・モーター音

【解決方法】
微生物基材の中で繊維質などが絡まっていたり、微生物基材が底の方で固まっている場合がございます。
異音がするときは200～300mlほどの水を入れていただき、スコップで底や端まで全体をかき混ぜてください。
かき混ぜにくい場合は半分程、バケツなどに移し替えていただきますとかき混ぜやすくなります。
その際、攪拌棒に繊維質（枝豆や果物・バナナなどの皮等）が絡まっている場合や
バイオ基材の中に残っている場合は取り除いてください。
異音は撹拌棒を回転させるモーターに負荷が掛かる時に発生します。
このような場合は定期的に繊維質を取り除き、微生物基材をかき混ぜてください。

Instruction Manual



Barimi

バイオ式 家庭用生ごみ処理機
取扱説明書

GL-020K

MADE IN KOREA

お客様へ

バイオ式 家庭用生ごみ処理機とは

このたびは、Barimi 製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。Barimiバイオ式家庭用生ごみ処理機は生ごみの分解に適した微生物が活動しやすい環境をつくることで、生ごみを短時間で水と二酸化炭素に分解し、良質な堆肥に変える製品です。取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

目次

使用上のお願い ―― 2P

安全上のご注意 ―― 3P

本体の設置と準備 ―― 5P

各部の名称 ―― 7P

生ごみの投入 ―― 8P

生ごみ分解の仕組みとフィルター清掃 ―― 9P

副産物の取り出し ―― 10P

製品の機能説明 ―― 11P

こんなときは ―― 13P

品質保証書 ―― 15P

製品の仕様 ―― 16P

使用上のお願い

POINT 1

室内の水平で安定した所に設置してください。
雨ざらしになる場所や雨水がたまるような場所には設置しないでください。

POINT 2

生ごみの最大投入量（1回あたり1.5kg／1日あたり2kg）を必ず守ってください。
（1日の投入量は1日に生ごみを数回に分けて投入する場合の累計量です）

POINT 3

生ごみが出たら水分を十分に切り、その都度投入してください。

POINT 4

大きな生ごみや繊維質が多い生ごみは細かくカットして投入してください。

POINT 5

一般的に人が食べられないもの（牛・豚・鶏の骨、貝殻・果物の大きな種など）
や生ごみ以外のもの（プラスチック、金属、輪ゴム、ガラスなど）は投入しないで
ください。

POINT 6

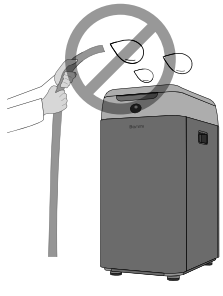
水分が多く攪拌槽内の微生物基材がどろどろした状態になった場合や悪臭が発生した場合は、
除湿ボタンを押し1～2日間、生ごみの投入を控えてください。
（微生物基材がある程度、乾燥したことを確認してから生ごみを再投入してください。）

安全上のご注意①

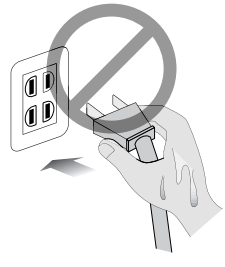
⚠ 安全に関する内容です。必ず守ってください。
誤った使い方をすると事故や火災、故障などの原因になります。
⊘ マーク「してはいけないことです」
❗ マーク「必ず実行することです」



雨ざらしになる場所や雨水がたまる場所、水に濡れる場所には設置しない
（感電・漏電火災・故障の原因）



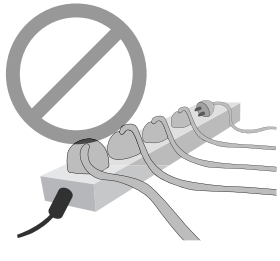
水で掃除をしない
（感電・漏電火災・故障の原因）



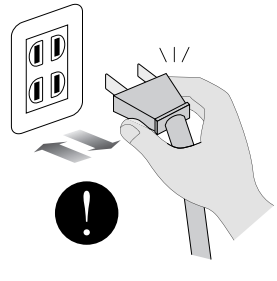
濡れた手で電源プラグを触らない
（感電の原因）



高齢者や子どもに製品の設置をさせない
（事故の原因）



たこ足配線など定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない
（発熱などによる火災の原因）



電源プラグは正しく扱う
※根元まで確実に差し込む・抜くときは、コードを引っ張らない
（感電や火災のおそれ）

安全上のご注意②

⚠ 安全に関する内容です。必ず守ってください。
誤った使い方をすると事故や火災、故障などの原因になります。
⊘ マーク「してはいけないことです」
❗ マーク「必ず実行することです」



子どもだけで使わせない
（微生物基材を食べるおそれ
・事故の原因など）



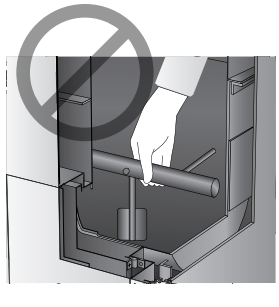
本体に乗ったり、物を載せたりしない
（故障・けがなどの原因）



コードや電源プラグが破損するようなことはしない。
破損した場合は、使わない
（感電・火災のおそれ）



絶対に製品を分解したり修理・改造しない
（感電・火災・故障・けがの原因）



攪拌棒を強制的に攪拌させない
（けが・故障の原因）

⊘ ガソリン・プロパンガスなど引火しやすいものを近づけない
（火災の原因）

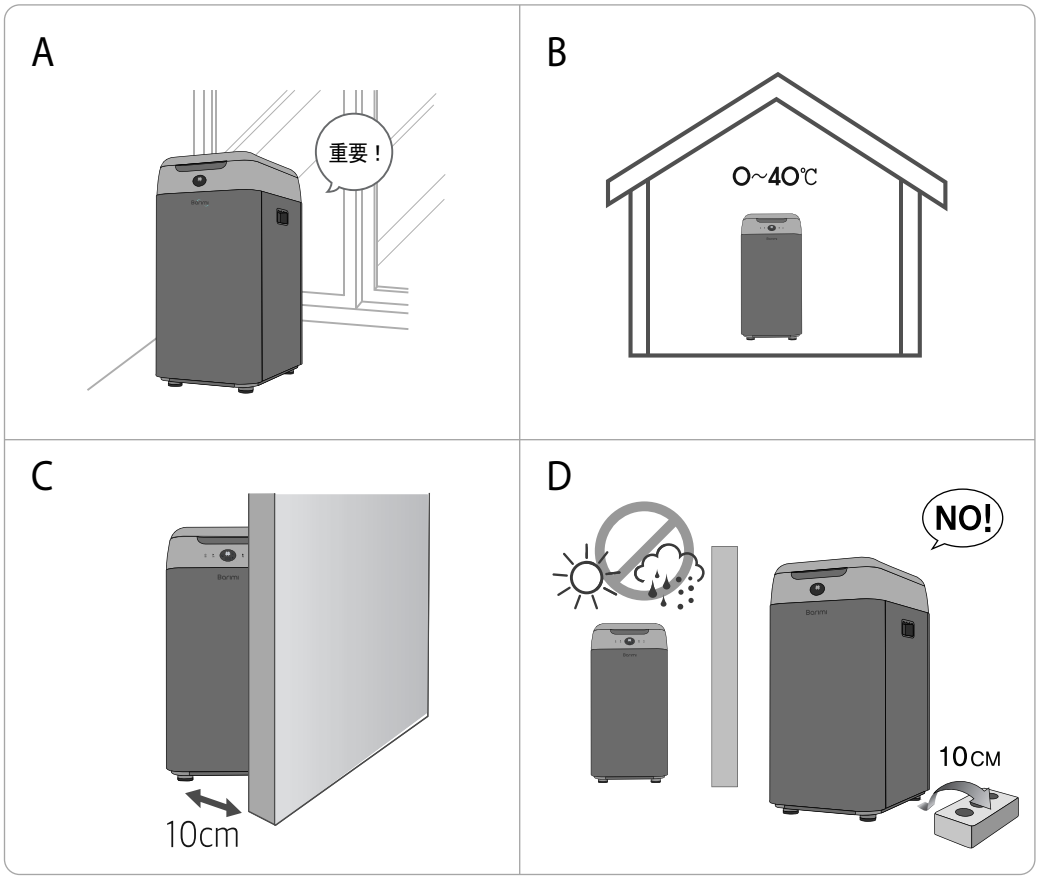
❗ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く
（感電・火災のおそれ）

❗ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く
（漏電火災・感電のおそれ）

❗ 生ごみ投入ルールを守る
※ 8P参照（故障のおそれ）

本体の設置と準備①

▪ 本体設置の注意事項



A . 平らで風通しの良いところに設置してください

B . 室内の温度が0℃にならない場所に設置してください

C . 壁などから10㎝以上 離してください

プロパンガスなど引火しやすいものの近くに設置しないでください

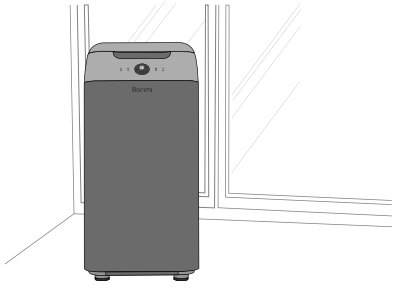
D . やむを得ず屋外に設置する場合

・直射日光と雨を避けて設置してください

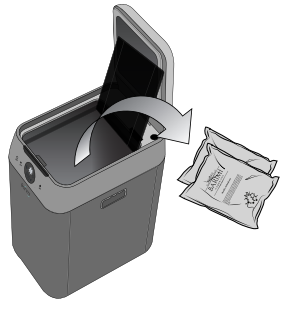
・床に水がたまるおそれがある場合は、設置場所にブロックなどを敷き、床面から10㎝以上離してください

本体の設置と準備②

- 使用前の準備



1. 平らで風通しの良いところに本体を設置します。



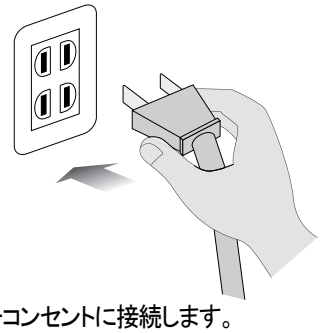
2. 製品の中にある微生物基材とその
他の付属品などを取り出します。



3. 微生物基材を本体攪拌槽内に入れます。



4. 300 ccの水を入れ、蓋を閉めます。

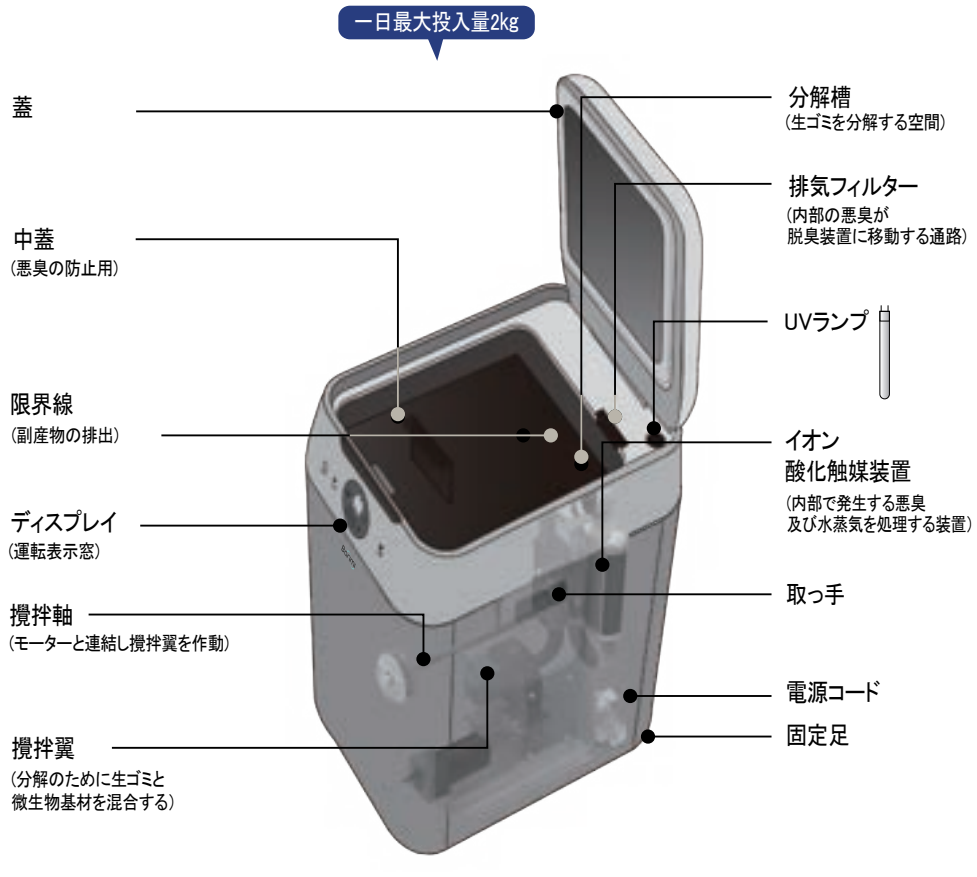


5. 電源プラグをコンセントに接続します。
自動的に運転を開始します。



6. 運転開始後、
24時間が経過してから生ごみを入れます。
(微生物基材を活性化するため、最初の1週間は
1日あたりの生ごみ投入量を500 g程度にしてください。)

各部の名称



付属品



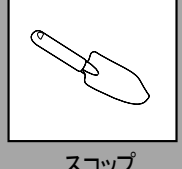
取扱説明書



電源コード



微生物基材



スコップ
（溜まった副産物を取
り出すときに使用）

生ごみ の投入

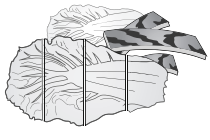
生ごみの最大投入量
（1回あたり1.5kg/1日あたり2kg）を必ず守ってください。

生ごみが出たら、その都度投入してください。

●生ごみの量が多い場合、
複数回に分けて投入してください。
●過剰な水分は微生物の分解能力を
劣化させ、悪臭の原因になります。

生ごみ を投入する 前に

1.



大きな生ごみや繊維質が多い
生ごみは必ず細かくしてください。

2.



魚の内蔵や塩分が多い生ごみは
水で1度すすいでください。

3.



水分を十分に切ってください。
量が多い場合は、複数回に分けて
投入してください。

⚠ 投入できるもの　人が食べて消化できるものは全て分解します。



果物, 野菜類



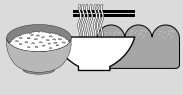
肉, 魚類



味噌, キムチ, 漬物類



菓子, 卵



麺類, ごはん, パン類

⚠ 投入できないもの　人が食べられないものは入れないでください。（卵の殻は投入可）



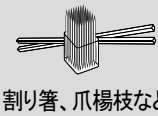
牛, 豚, 鶏, 魚などの大きな骨



貝殻類



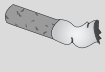
桃・アボカドなどの大きな種



割り箸、爪楊枝など



紙、テープ



タバコ



薬品類



ビニール袋、プラスチック、ゴム、金属、ガラス

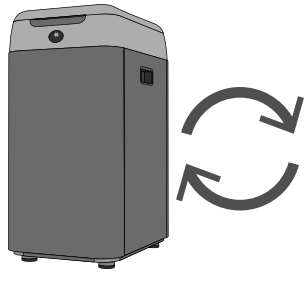
生ごみ分解の仕組みとフィルター清掃

1



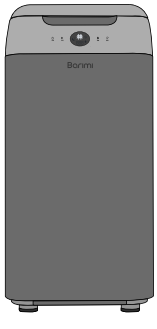
蓋を開けて生ごみを投入します。

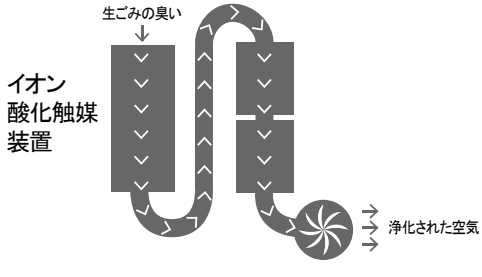
2



蓋を閉めてください。
生ゴミを自動で混ぜて最適な状態にします。

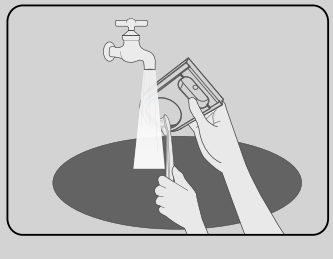
3





微生物の働きを利用することで、投入後、約24時間で生ごみのほとんどを水と二酸化炭素に分解します。
水分や臭気は脱臭装置（イオン酸化触媒）によって水蒸気と浄化された空気になって排出されます。

フィルター清掃



排気フィルターが汚れている場合、取り出してやわらかい
ブラシや濡れたふきんなどで汚れを取り除いてください。（月に1回程度）

副産物の取り出し

副産物とは?

生ごみには、微生物が分解しにくい難分解性物質が約5%含まれています。
そのため、時間の経過とともに撹拌槽内の微生物基材などの量が増えます。
このように増えたものを副産物といい、副産物はたい肥として使用することができます。

1. 副産物の処理

撹拌槽内の限界線(7ページ 「各部の名称」を参照)
を超えた場合、撹拌棒が見えるまで副産物を取り出してください。

＊十分に分解されていない生ごみは取り出さないでください

＊取り出した副産物は、たい肥として利用可能です。

＊副産物を取り除いた後は、いつも通りご使用いただき、
再び限界線を超えたら撹拌棒が見えるまで副産物を取り除
いてください。

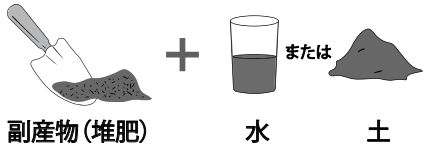


撹拌棒が見えるまで副産物を

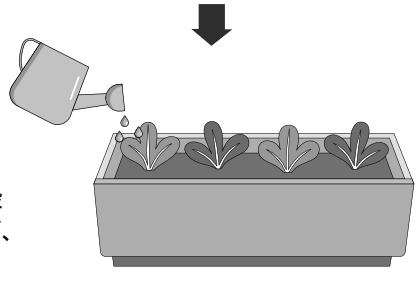
2. 副産物を堆肥として利用する

副産物を「水または土」と約1:9の比率で混ぜて、
たい肥として使用します。

副産物(堆肥):水または土 = 1:9



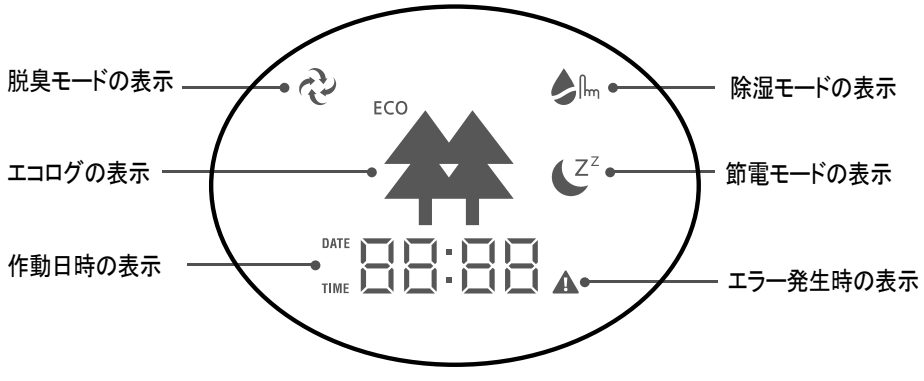
副産物(堆肥)　　水　　土



＊副産物は、お住まいの自治体のルールに従って一般
ごみや燃えないごみとして廃棄することも可能ですが、
是非「たい肥」として活用してください。

製品の機能説明①

■ ディスプレイ及びボタンの機能説明



電源ボタン

・製品の稼働時、電源ボタンを押すとチリンというブザー音が鳴り、動作を始めます。
・製品の動作を中断する場合は、電源ボタンを押すとLCD表示窓が2回点滅しながらチリリンというブザー音と共に動作が中断します。

電源

案内ボタン

・案内ボタンを押すと製品に対する正確な使用法を熟知できるように音声で製品案内をします。

案内

除湿ボタン

・製品内部の微生物基材がドロドロになった場合、除湿ボタンを押すと運転表示窓に除湿アイコンが表示され、チリンというブザー音と共に除湿作動します。
・除湿ボタンを押す場合、動作時間が24時間に限定されます。継続的に除湿機能使用する場合は、24時間後にもう一度押してください。
・除湿を中断する場合は、再度除湿ボタンを押すとチリリンというブザー音と共に作動が中止します。除湿ボタンを押した状態で脱臭ボタンを押す場合、除湿動作時間が終了した後、続いて脱臭動作に進行します。
・除湿ボタンを押した後、24時間は生ごみの投入はしないでください。

除湿

脱臭ボタン

・製品内部の微生物基材が乾燥した場合は悪臭の原因になりますので、脱臭ボタンを押すと運転表示窓に脱臭アイコンが表示され、チリンというブザー音と共に作動します。
・脱臭ボタンを押す場合、動作時間が24時間に限定されます。継続的に脱臭機能使用する場合は、24時間後にもう一度押してください。
・脱臭を中断する場合は、再度脱臭ボタンを押すとチリリンというブザー音と共に作動が中止します。脱臭ボタンを押した状態で除湿ボタンを押す場合、脱臭動作時間が終了した後、続いて除湿動作に進行します。

脱臭

製品の機能説明②

- 動作説明

1）初期モード

・電源ボタンを押したときや、上部の蓋を開閉した後は初期モードで動き始めます。

2）標準モード

・初期モードで30分間動いた後、自動的に標準モードに移行します。
・標準モードの作動時間は47時間30分です。



・24時間以下ではTIMEが表示され動作時間と分が表示されます。（上の図の例：23時間47分）



・24時間以上ではDATEが表示され、動作日と時間が表示されます。（上の図の例：2日7時間）

3）節電モード

・*標準モードで開始から48時間後に節電モードに自動的に移行します。
・電源ボタンを押したり蓋を開閉すると節電モードから初期モードに移行します。



節電モードの表示

こんなときは①

- エラー検知とディスプレイ表示の説明

1）エラーの検知

・製品に問題が発生した場合、全ての動作は停止し、チリンというブザー音が30秒間隔でなり続けます。
・先端技術を内蔵したセンサーが不良部分を検知して運転表示窓に表示します。

2）ディスプレイ表示の説明

・ 運転表示窓にエラーアイコンが表示され、チリンというブザー音が30秒間隔でなり続けたら、
A/Sセンターに連絡し、英文表示のエラーメッセージをお伝えください。迅速な処理に役立ちます。

ドラムヒーターのエラー検知

① 

② 

③ 

④ 

ァン(FAN)モーターのエラー検知

⑤ 

カートリッジのエラー検知

⑥ 

⑦ 

⑧ 

⑨ 

UVランプのエラー検知

⑩ 

攪拌モーターのエラー検知

⑪ 

こんなときは②

問題点	確認項目	解決方法
電源が入らない	電源プラグが差し込まれていますか？	電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
	電源スイッチが入っていますか？	電源スイッチを入れてください。
音が気になる -何かがぶつかる音 -ぎしぎしと何かが擦れる音		
	撹拌槽内に硬いものが入っていませんか？	硬いものを取り除いてください。
	撹拌槽内が乾燥していませんか？	水200cc程度を投入してください。
臭いがする	本体の蓋は閉まっていますか？	本体の蓋をしっかり閉めてください。
	強い生ごみ臭がしますか？	脱臭（11ページ参照）を実行し、 1～2日間生ごみの投入を控えてください。 「コーヒーかす」または「余分な微生物基材」があれば投入してください。
	酸っぱい臭いがしますか？	微生物基材を交換してください
撹拌槽内 がどろどろしている	過剰な生ごみを投入していませんか？	除湿（11ページ参照）を実行し、1～2日間生ごみの投入を控えてください。
	水分の多い生ごみを大量に投入しましたか？	
結露が発生している	冬場などで周囲の温度が低いですか？	なるべく製品内部との温度差がない場所に移動してください。
	過剰な生ごみを投入していませんか？	除湿（11ページ参照）を実行し、1～2日間生ごみの投入を控えてください。
	水分の多い生ごみを大量に投入しましたか？	
	排気口が詰まっていませんか？	排気口（7ページ参照）を掃除してください。
	排気フィルターが詰まっていませんか？	排気フィルター（7ページ参照）を掃除してください。
撹拌槽内が乾燥し、 ほこりっぽい	生ごみの投入が「とても少ない」または 「全くない」状況ではありませんか？	水200cc程度を投入してください。
撹拌槽内に虫が発生した	分解されていない生ごみが残っている状態で電源を切り、 長期間放置していませんか？	微生物基材を廃棄・交換し、電源を入れてください。
生ごみが混ざらない	撹拌槽内がどろどろしていませんか？	除湿（11ページ参照）を実行し、1～2日間生ごみの投入を控えてください。
	撹拌槽内に硬いものが入っていませんか？	硬いものを取り除いてください。
生ごみが分解されない	過剰な生ごみを投入していませんか？	除湿（11ページ参照）を実行し、1～2日間生ごみの投入を控えてください。
	繊維質の多い生ごみを大量に投入していませんか？	時間が経過すると分解されますが、気になる場合は、 分解が遅い生ごみを取り出し、廃棄してください。 繊維質の多い生ごみを投入する際は、必ず細かく切ってください。

エラーコードが表示された場合やモーター不良が疑われる場合、問題が解決できない場合などはカスタマーセンターにご連絡（15ページ参照）ください。

＊ UVランプは年に1回交換することをおすすめします。

＊ 微生物基材は半永久的に利用可能です。（必要に応じて交換）

＊ 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜き、内部の微生物基材・副産物を全て取り出して密閉し、風通しの良い場所で保管してください。

品質保証書および仕様

保証書

品名	Barimiバイオ式家庭用生ごみ処理機
モデル名	GL-020K
保証期間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ日	※納品書(通信販売などの場合)または、販売店が発行するレシートに記載 納品書・レシートはこの保証書と一緒に大切に保管してください。
お客様	**お名前**
	ご住所　〒
	電話番号

この保証書は、記載内容に基づき無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「カスタマーセンター」へお問い合わせください。

【無料修理規定】

取扱説明書に従った使用において、保証期間内に故障や不具合が生じた場合は、無料で修理または弊社の判断により交換させていただきます。無料修理を受ける場合、お買い上げ店舗または弊社に保証書を必ず提示してください。
次のような場合は、保証期間内でも有償修理になります。

1)火災、塩害、地震、落雷、風水害、津波、その他天災地変などによる不具合
2)ネズミ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
3) 故意、過失を問わず、取扱説明書に記載された手順や注意事項をお守り頂けなかった場合の不具合
4) 弊社カスタマーセンター以外での修理改造等による不具合
5) 保証書の提示がない場合
6)提示された保証書の字句が書き替えられていた場合、お客様のお名前、連絡先などの必要事項が記入されていない場合、お買い上げ日が確認できない場合(お買い上げ日が記載されている納品書、レシートなどは、大切に保管してください)
7)お買い上げ後の郵送・移動・落下等による損傷
8) その他、弊社が定める除外規定による場合

＊この保証書は、日本国内においてのみ有効です。

輸入　株式会社チャイルド
販売　株式会社TVQ九州放送
福岡県福岡市博多区住吉2-3-1
Barimiカスタマーセンター(受付時間/平日10:00～17:00)
092-577-3258
Mail　barimi@tvq.co.jp

製品の仕様

- 仕様

処理方式	微生物発酵消滅方式
外形寸法	W320xD460xH670(㎜)
製品重量	22kg
分解容量	一日最大投入量2kg
定格電圧	100V、50Hz／60Hz
最大消費電力	165W(平均消費電力36W)
脱臭装置	イオン酸化触媒方式
微生物	バシラス属系の好気性、好酸性、好塩生の微生物

MEMO

Barimi

バイオ式 家庭用生ごみ処理機

安全にご使用いただくため、この取扱説明書を必ずご覧の上、正しくご使用ください。

製造元：(株) GL PLUS
14, Saneop-ro 104beon-gil, Bucheon-si,
Gyeonggi-do, Republic of Korea